

## 児童虐待防止を呼びかけるオレンジリボンツリーが点灯

ツリーを飾る手作りオレンジリボンを募集、  
集まったリボンの総数に応じた金額を、民間の緊急避難場所「子どもシェルター」に寄付

【2010年11月22日】

日本アムウェイ合同会社（本社：東京都渋谷区、社長：ジョン・パーカー）は、11月21日(日)当社本社にて、児童虐待防止運動のシンボルであるオレンジリボンを約3万500個使って装飾したクリスマスツリーの点灯式を行い、児童虐待防止を呼びかけました。

当社は、今年9月から従業員や当社会員（以下ディストリビューター）をはじめ、本プロジェクトへの賛同者から手作りのオレンジリボンを募り、11月末までに集まったリボン1



個につき10円を、虐待など、様々な事情によって帰る家の無い10代後半の子どもたちのための、民間の緊急避難場所である子どもシェルター4団体に寄付する「オレンジリボンツリー・プロジェクト」を展開しています。（詳細別紙参照）オレンジリボンツリーはこのプロジェクトの一環で、児童虐待のない社会の実現と、児童虐待防止への協力を呼びかける。

点灯式セレモニーは、寄付先の一つである、2004年に日本で初めて開設された東京の子どもシェルター「カリヨン子どもセンター」の理事長 坪井節子氏とスタッフによるハンドベル演奏で始まりました。その後、当社社長のジョン・パーカーとディストリビューター代表の中島薫氏（ダブルクラウンアンバサダーD）、および「カリヨン子どもセン

ター」の坪井氏の挨拶などに続き、壇上者全員でツリーに点灯しました。（当社社長及び、坪井理事長のスピーチ内容は別紙をご参照下さい）

オレンジリボンツリーは、12月25日のクリスマスまでの間、毎日9時から22時まで点灯します。また、本社内でも、子どもシェルターに関するパネル展示、オレンジリボン制作ブースを設置し、児童虐待防止を呼び掛けます。

「オレンジリボンツリー・プロジェクト」は、当社の社会貢献プログラム「One by One 子ども基金」※1が支援している児童虐待防止運動の一環であり、プロジェクト終了後、同基金からの寄付金も合わせて子どもシェルターに贈呈する予定です。



点灯式の様子

当社は、2008年から「One by One子ども基金」を通じて、啓発、体験、自立支援、治療セラピー・指導者育成の4つの分野で児童虐待防止を推進する「オレンジ・プロジェクト」※2を実施しています。未来を担う子どもたちが安心・安全に暮らせる社会を目指して、今後も当社ならではの社会貢献活動を推進していく考えです。

※画像データをご希望の場合は、下記にお問い合わせください。

#### 本件に関するお問合せ先

「オレンジリボンツリー・プロジェクト」事務局  
ウェーバー・シャンドウィック 担当：赤坂、藤本  
電話：03-5427-7332 e-mail: nakasaka@webershandwick.com

日本アムウェイ合同会社 アムウェイブランドマーケティング部  
コーポレートPRグループ 大橋秀晃  
電話：03-5428-7721 e-mail: Hideaki\_Ohashi@amway.com

## 【日本アムウェイ社長ジョン・パーカー スピーチ(抜粋)】

子ども達への支援は、世界58の国と地域にあるアムウェイが共通して取り組んでいるテーマです。支援が必要な子どもたちのための社会貢献プログラム「One by One こども基金」は、2003年に各国で始められました。日本では、児童虐待の深刻さとこの分野への早急な支援の必要性に着眼し、同プログラムの一環として、2008年9月より「オレンジ・プロジェクト」として児童虐待防止の支援活動を開始しました。今回の「オレンジリボンツリー・プロジェクト」も、その一つで、当社従業員やディストリビューターの皆様をはじめとする賛同者により、約3万5000個もの手作りリボンが集まりました。本プロジェクトが、児童虐待防止運動を促進するとともに、居場所を失った子ども達の支援の一助となれば幸いです。

## 【「カリヨン子どもセンター」坪井理事長 スピーチ(抜粋)】

日本で虐待というと、まずは小さな子どもたちを救う活動が注目されますが、私たち弁護士の前には、14、5歳から19歳までの、虐待をされたまま家から逃げ出せずに、ずっと苦しんできた子どもたちや、親から出ていけと言われてしまう子どもたち、あるいは、親がいなくなってしまった子どもたちが沢山います。以前は、その子どもたちから「今晚どこに泊ったらいいの？」と聞かれても、私たちには泊めてあげるところがありませんでした。そこで、7年前に子どものためのシェルターを設立し、逃げてくる子どもたちへ「生まれてきてよかったんだよ、一人ぼっちではないよ、一緒に考えていこう」と伝えて活動してきました。これまで6年間で、170人の子ども達が逃げてきました。ぜひ、子どもシェルターの活動が全国に広がって欲しいと思います。

公的支援がない子どもシェルターの活動は、今回のような皆様の支えで成り立っています。本当にご寄付ありがたいと思います。これからも、皆様からの温かい思いをお伝えいただければと思います。

## ※1 「One by One こども基金」

世界58の国と地域で展開するアムウェイが、2003年に各国でサポートが必要な子ども達のために始めた社会貢献プログラム。日本アムウェイでは、様々な困難を抱えた日本の子ども達を支援する目的で、フード製品などの購入額に10円上乗せする「10円基金」をベースとして、日本アムウェイも「マッチング基金」として同額を拠出して運用している。

## ※2 「オレンジ・プロジェクト」

日本アムウェイが「One by Oneこども基金」を通じて行う社会貢献プログラム。日本の子どもを取り巻く環境として児童虐待問題の深刻さと、この分野への早急な支援の必要性に着眼し、2008年9月からスタートした。4つの分野（啓発/体験/自立支援/治療セラピー・指導者育成）からそれぞれ専門性が高いNPOと協働し社会的養護が必要な子ども達への支援を行っている。

啓発	オレンジリボン運動、シンポジウム開催などの啓発・広報活動
体験	森林療法、環境教育、アートセラピーなどの専門家と協力し、自然体験活動を通して子ども達の心の開放を促す
自立支援	緊急避難所や自立援助ホームへの資金援助。社会的自立に向けて必要な知識を学ぶセミナーの支援など
治療セラピー指導者育成	被虐待児童への治療セラピー・臨床心理士のセミナーの開催支援と、施設職員への受講サポート

<オレンジリボンツリー・プロジェクトの概要>

【主催】	日本アムウェイ合同会社
【後援】	特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク
【実施期間】	9月6日（月）から12月25日（土）まで
【目的】	オレンジリボンツリーを通じて、児童虐待防止を啓発するとともに、さまざまな事情で自分の家では暮らせない子ども達を一時的に保護する緊急避難場所子どもシェルターを支援する
【内容】	日本アムウェイ従業員、ディストリビューターをはじめとする賛同者から手作りのオレンジリボンを募り、クリスマスツリーに装飾、日本アムウェイ本社前に設置する。11月末までに集まったリボン1個につき10円を、日本アムウェイから子どもシェルターを運営する4団体に寄付。日本アムウェイの社会貢献プログラム「One by One こども基金」の10月と11月の基金も全て同4団体に寄付する
【寄付先】	社会福祉法人 カリヨン子どもセンター（東京都） 特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ（神奈川県） 特定非営利活動法人 子どもシェルターモモ（岡山県） 特定非営利活動法人 子どもセンターパオ（愛知県）
【ツリーの概要】	サイズ：高さ約4m、直径1.8m 設置場所：日本アムウェイ本社ビル正面（東京都渋谷区宇田川町7-1） 設置期間：11月21日（日）～12月25日（土） 点灯時間：9時～22時 ※本社内でも、子どもシェルターに関するパネル展示、オレンジリボン制作ブースを設置し、児童虐待防止を呼び掛けます。